

【参考資料】

英語活動指導案例

第 学年 組 英語活動指導案

日時 平成 年 月 日 () 第 校 時
 場所 イングリッシュルーム
 児童 名
 指導者 HRT :
 ALT :

英語の学習ではありませんので、「学習指導案」とはしない方がよいでしょう。

指導案にはいろいろなパターンがあり、こう書かなければならないというものではありません。あくまでも参考資料として御覧ください。

1 単元名

新しい先生となかよくなるう

2 単元について

- ・ 本単元では、・・・という活動の中で・・・ということの主なねらいとする。また、・・・ということなどもねらいのひとつである。(最初の項目は、一般的に「単元観」もしくは「題材観」と呼ばれているものです。この単元で、どのような活動を取り入れ、どのような英語表現に触れさせるのか、そしてどのような力を育てることをねらうのかといったことを記述します。したがって、「...のような活動の中で、...に触れさせながら、...することを主なねらいとする」というような表現が見られます。)
- ・ 本学級では、・・・から英語活動が始まり・・・。月に行った児童アンケートによると、・・・。ふだんの授業では、・・・という姿も見られる。その反面、・・・という児童もあり、・・・。(2番目の項目は、「児童観」と呼ばれるもので、児童の実態を書くこととなります。本学級児童の英語活動経験、授業の中での様子、アンケートの結果などから、英語活動に対する関心・意欲や技能などについて表記します。)
- ・ そこで、指導に当たっては、まず第一に・・・ということに留意したい。・・・したり、・・・したりさせる中で、・・・という意欲を高めるような工夫をする。そして・・・。(3番目の項目は、「指導観」と呼ばれているもので、指導上の留意点や手立てなどを書きます。つまり、「こんな単元だから(単元観)」、そして「こんな子どもたちだから(児童観)」 「このような指導をしたい(指導観)」という構成になるわけです。)

3 単元の目標

単元の総括的な目標を文章表記します。

また、下の4に挙げた単元の評価規準を記すことで、観点ごとの目標とする場合もあるようです。

4 単元の評価規準(本研究委員会試案に基づく)

- ・ 関心・意欲・態度の観点では、「～しようとする」という文末表現になります。
- ・ 技能・表現の観点では、「～できる」という文末表現になります。
- ・ 気付き・理解という観点では、「～に気付く」、「～が分かる」などの文末表現になります。

5 単元計画

(例1)

単元の中の「本時の活動」の部分だけを取り上げて、目標や準備、1時間の流れなどを書きます。本時の展開だけを書く場合もあります。

時	活動名(指導形態)	主な活動と英語表現
1	数で遊ぼう (HRT + ALT)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～30までの数の表現に触れる。 ・ ビンゴゲームや数探しゲームを楽しむ。 one, two, three ... thirty How many are there in this classroom? ...
2	インチで測ってみよう (HRTのみ) 【本時】	<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーえいごリアンを視聴する。 ・ インチという単位に触れ、インチメジャーを使って、身の回りの物の長さを測る。 Let's watch "Super Eigorian"....
3	ポウカイトを作ろう (HRT + ALT)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーえいごリアンを再度視聴する。 ・ 番組中に出てきたポウカイトを JTE の英語の指示に従って作る。

	Let's make a bow kite. Please measure 12 inches. ...
--	---

授業の形態を入れると、より分かりやすくなります。

それぞれの時間に行う主な活動を入れ、単元の流れが分かるようになります。また、触れさせる英語表現を入れておくと授業がイメージしやすくなります。主な活動と英語表現を別の枠にすることもあります。

(例2)...活動名だけのシンプルなパターン

- 第1時...数で遊ぼう
- 第2時...インチで測ってみよう(本時)
- 第3時...ボウカイトを作ろう

6 本時の活動(本時...2/3)

(1) 本時の目標

単元の目標を具体化した本時の目標を記述します。評価の観点のうち、特に付けたい力を1~2つ選択し、本時の目標として掲げる場合もあります。活動目標であれば児童を主語とした文末表現(~できる、~しようとするなど)、指導目標であれば教師を主語とした文末表現(~させるなど)になります。ここでは、「本時の活動」の中の目標ですから、児童を主語とした文末表現になると考えた方がいいでしょう。

(2) 準備

この項目はなくても構いません。ただ、英語活動では準備物が多くなる場合があるので、ここに準備物を記しておくことで準備忘れというミスが少なくなります。

(3) 展開

「学習活動」ではありませんので、「児童の活動」もしくは「言語活動」などの表現を使います。

備考欄には、活動で使うものなどを記入する場合があります。

(例1)

時配	児童の活動	HRTの働き掛け	ALTの働き掛け	備考

活動ごとに掛ける時間の目安を書きます。

児童の活動なので児童主語で書きます。「~する」という文末表現になります。

TTで行う場合は、担任とALT又はGTの役割分担が明確になるように2つの欄を設ける場合もあります。

(例2)

時配	児童の活動	指導上の留意点	備考
1	ビンゴゲームを楽しむ。	・ビンゴゲームを楽しませる。 (良くない留意点の例)	

他教科と同じように、「児童の活動」に対して「指導上の留意点」という書き方をする場合もあります。「指導上の留意点」は教師が主語なので、「~させる」とか「~に配慮する」というような文末表現になります。しかし、指導案中の例のように、単に「児童の活動」の表現を「~させる」と変えただけでは留意点になりません。例えば、この例では「ビンゴゲームを楽しませるためにどんな工夫をするのか、どんな手立てを取るのか」ということが見えるような書き方にしなければ「指導上の留意点」とは言えないのです。

指導上の留意点や教師の働き掛けの欄に、評価計画も入れるようにします。どの活動で、どの観点の評価をするのかということを示すのです。評価は1時間の授業の中で1~2つで十分でしょう。欲張り過ぎて3つも4つも評価項目を入れた指導案も見られますが、実際には評価できないか、逆にチェックのし過ぎで「評価のための評価」になってしまうかのいずれかです。「無理なく」「無駄なく」が評価の原則です。

日 時：平成 年 月 日()第 校時
 場 所：イングリッシュルーム
 児 童 数： 名
 指 導 者：教諭

1 単元名

インチで測ってみよう

2 単元について

- 本校では、平成17年度に英語活動の取り組みが始まり、今年度で3年目となる。本学級の児童は、これまでに英語を聞いてかるた取りの要領で絵カードを取るようなゲームや、ジェスチャーを交えながら英語の歌を歌うといった活動を楽しんできた。しかし、高学年になり、心と体が大きく成長する時期を迎えた児童は、ルールが単純なゲームや単調な繰り返しのロールプレイなどに満足できなくなりつつある。

そこで、本単元では、NHK 学校放送「スーパーえいごリアン」という番組を利用し、インチという長さの単位に触れさせたり、番組中に出てきたボウカイトを実際に作ったりする活動を取り入れることにした。いろいろなものの長さをインチメジャーを使って測らせるなど、知的好奇心を刺激するような活動を通し、数を表す英語表現に慣れさせたい。同時に、ALT や担任の英語を一生懸命聞いたり、ジェスチャーや聞き覚えのある英語表現を使って教師の質問に答えようとしたりといったコミュニケーションへの意欲を高めることを主なねらいとする。また、インチや日本の寸・尺という長さの単位が、体の部分の大きさを基にしていることを示し、異文化の中の同質性に気付かせることもねらいの一つである。

- 本学級の児童は、4年生のときからALT とのTT や担任だけの英語活動に取り組んでいるため、ある程度の語い力、聞いて反応する力は育っている。これまでの英語活動でも、数を取り扱った授業はたびたび行われており、数字を表す単語や“How many ~ ?”という英語表現にも慣れている。しかし、長さを表す単位が英語圏で異なるということを知っている児童は少ないと思われる。

ALT や他の外国人ゲストに対しては抵抗感が小さく、自分からかかわろうとする意欲もある。ただ、高学年という成長段階からくる恥ずかしさなどもあって、人前で英語を発話したり、大きなジェスチャーをしたりするようなことに抵抗を示す児童もいる。

- そこで、活動においては、第1時目に数を取り扱ったゲームをいくつか行い、英語活動の楽しい雰囲気をつくりながら、数の英語表現にも親しませる。2時目は、担任単独という授業形態なので、NHK 学校放送番組「スーパーえいごリアン」6回目放送「測ってみよう」を利用する。番組の中でインチという単位に出会わせ、その後、インチメジャーを使って、フロッピーディスクやテレビ画面のサイズを測らせる中で、身の回りでインチという単位が使われていることに気付かせたい。その際、“How many inches is it from here to here?”という質問を繰り返すことで、数を尋ねる英語表現に慣れさせる。また、最後にインチと日本の寸・尺という単位がどちらも生活の中から生まれたものであることを紹介し、異文化の中の同質性に気付かせて授業を終わる。3時目には、同番組を再度視聴させ、今度はボウカイトの作り方に注目させる。ALT による英語の指示で実際にボウカイトを作るという活動を入れることで、英語を聞く必然性をもたせることができる。子どもたちは、ボウカイトができたことで英語が理解できた実感するであろう。その達成感や満足感を味わわせ、コミュニケーションへの更なる意欲をかきたてたい。いずれの活動においても、賞賛や励ましの言葉掛けを多くし、全員が楽しんで取り組めるように配慮する。

3 単元の目標

数の言い方や数の尋ね方、答え方などの表現に親しむような活動を通して、ALT や担任の英語を一生懸命聞いたり、反応したりといったコミュニケーションの楽しさを味わわせる。また、インチという単位が、身の回りの生活の中で意外に使われていることや、日本の寸・尺といった単位も含めて、長さの単位には人間の体の大きさを基準としているものが多いことなどに気付かせ、文化への理解を深める。

4 単元の評価規準

- ALT や担任の英語による指示や説明を一生懸命聞いたり、様々な方法を駆使して自分の気持ちを伝えたりしようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ALT や担任の英語の指示に従って、インチメジャーでいろいろな物の長さを測ったり、ボウカイトを作ったりする

ることができる。(コミュニケーションの技能)

- ・ インチという単位が身の回りの生活の中で使われていることや、人間の体の大きさが基になっていることなどに気付く。(言語や文化に対する気付き)

5 単元計画

時	活動名(指導形態)	主な活動と英語表現
1	数で遊ぼう (HRT + ALT)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～30までの数の表現に触れる。 ・ ピンゴゲームや数探しゲームを楽しむ。 ・ 数を尋ねる質問に答える。 one, two, three ... thirty How many are there in this classroom?
2	インチで測ってみよう (HRTのみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーえいごリアンを視聴する。 ・ インチという単位に触れ、インチメジャーを使って、身の回りの物の長さを測る。 ・ 長さの単位についての話を聞く。 Let's watch "Super-Eigorian". How many inches is it from here to here?
3	ボウカイトを作ろう (HRT + ALT)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーえいごリアンを再度視聴する。 ・ 番組中に出てきたボウカイトをJTEの英語の指示に従って作る。 ・ ボウカイトを上げて楽しむ。 Let's make a bow kite. Please measure 12 inches. This is a ~.

6 本時の活動(本時... 2 / 3)

(1) 目標

- ・ インチメジャーを使って長さを測ったり、測った長さを伝えたりすることができる。(コミュニケーションの技能)
- ・ インチという長さの単位に触れ、身の回りで使われていることに気付く。(言語や文化に対する気付き)

(2) 準備

数探しゲームシート, ハエたたき, スーパーえいごリアンのビデオ, インチメジャー(児童分), テレビ, フロッピーディスク

(3) 展開

時配	児童の主な活動	指導上の留意点と主な英語表現 ...評価
4	1 担任とあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体にあいさつをし、個別に話し掛ける。 ・ 初めは数字を言うだけにし、次第に数に関する質問を交えていく。 ・ 勝ち負けにこだわらず、楽しくゲームができる雰囲気をつくる。
8	2 数探しゲームを楽しむ。 ・ 2チームに分かれ、ALTや担任が言った数字を、黒板にはった紙の中から見付け、ハエたたきでたたく。	
9	3 NHK学校放送番組「スーパーえいごリアン」2002年度6回目放送「測ってみよう」を見る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の主題に関係のある前半部分だけをビデオで見せる。 ・ 児童の表情を見ながら、一緒に視聴する。 How was today's Super-Eigorian? What did Simon say? What words can you hear?
3	4 番組の内容を簡単に振り返る。	
7	5 インチという長さの単位の存在と生活の中での使われ方について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ インチで表示されたメジャーを渡し、インチという単位と、生活の中での使われ方について考えさせる。 どんなところで見たり聞いたりしたことがあるかを考えることができる。(気付き) ・ 3.5インチフロッピーディスクや21型(21インチ)のテレビを示し、どこの長さが使われているのか、実際に測らせて考えさせる。
	6	